

SAKAI®

SW652-1 Series



SW652-1



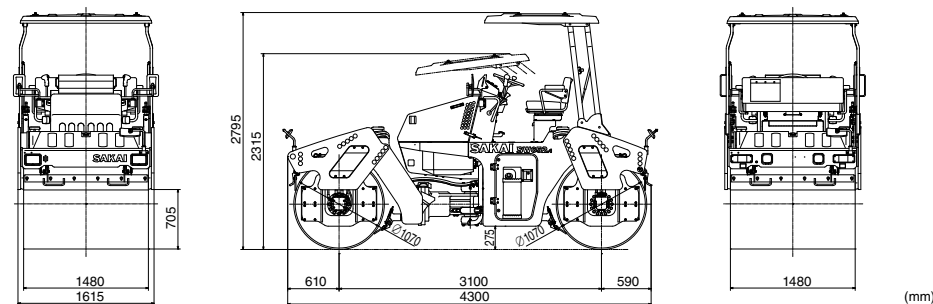
SW652B-1



SW652ND-1

舗装用締め機械

SW652-1 Series



概略仕様

| 形式 | | 振動タンデムローラ | | | |
|-------|-------------------------------|-----------------------------|---|-------------------------|-------------------------------------|
| 製品型式 | | SW652-1 | SW652B-1 | SW652ND-1 | |
| 打刻型式 | | 1SW47 | | | |
| 質量 | 運転質量 (キャノピー) | kg | 7,100 | 8,000 | 7,400 |
| | 機械質量 (キャノピー) | kg | 6,500 | 7,400 | 6,800 |
| | 運転質量時 (キャノピー) の前軸質量 / 後軸質量 | kg | 3,450 / 3,650 | 3,900 / 4,100 | 3,600 / 3,800 |
| 性能 | 起振力 (L/H) | kN (kgf) | 62 / 69 (6,300 / 7,000) | 61 / 67 (6,200 / 6,800) | (通常 / 水平) 68 / 124 (6,900 / 12,600) |
| | 振動数 (L/H) | Hz (vpm) | 67 / 50 (4,020 / 3,000) | | |
| | 振幅 (L/H) | mm | 0.30 / 0.55 | | |
| | 運転質量時 (キャノピー) の動線圧 (前軸 L / H) | N / cm (kgf / cm) | 647 / 695 (66 / 71) | 670 / 711 (68 / 73) | (通常のみ) 698 (71) |
| | 運転質量時 (キャノピー) の動線圧 (後軸 L / H) | N / cm (kgf / cm) | 661 / 708 (67 / 72) | 684 / 724 (70 / 74) | (通常のみ) 711 (73) |
| | 速度段 | 段 | 3 | | |
| | 走行速度 (L / H) | km / h | 0-2, 0-4, 0-6 / 0-4, 0-8, 0-13 | | |
| | 登坂能力 | ° (%) | 19 (34) | 16 (29) | 18 (32) |
| | 最小回転半径 (外輪基準) | m | 5.1 | | |
| 寸法 | 全長 | mm | 4,300 | | |
| | 全幅 | mm | 1,615 | | |
| | 全高 | mm | 2,795 | | |
| | 軸距 | mm | 3,100 | | |
| | 締め幅 | mm | 1,480 | | |
| | ロール径 / ロール幅 (外輪基準) | mm / mm | 1,070 × 1,480 | 1,070 × 1,480 (740 × 2) | 1,070 × 1,480 |
| | 最低地上高 | mm | 275 | | |
| | カーブクリアランス | mm | 705 | | |
| | サイドクリアランス | mm | 68 | | |
| 機関 | メーカー | | KUBOTA | | |
| | 型式 | | V3307-DI-T-KDN (Diesel) | | |
| | 形式 | | 水冷 4 サイクル・直接噴射式・ターボチャージャ | | |
| | 総行程容積 | L | 3,331 | | |
| | 定格出力 | kW (PS) / min ⁻¹ | 54.6 (74.2) 2,200 | | |
| | 蓄電池 | V (V/Ah × 個) | 12 (12 / 72 × 1 個) | | |
| | 充電発電機 | V / A | 12 / 80 | | |
| | 燃料消費量 (ネット: ファンなし) | L / h | 10.0 | | |
| 伝動装置 | 変速機 | | 静油圧変速機 | | |
| | 駆動方式 | | 静油圧式 | | |
| 起振装置 | 駆動輪 | | 全輪 | | |
| | 形式 | | 静油圧式 | | |
| 制動装置 | 振幅段 | | 2 | 通常 1, 水平 1 | |
| | 起振機 | | 一軸偏心・可変式 | 二軸偏心・可変式 | |
| | 走行ブレーキ (緊急時) | | 静油圧 (HST) ブレーキ + 機械式湿式多板式ブレーキ / ブレーキペダル | | |
| | 駐車ブレーキ (駐車時) | | 機械式湿式多板式ブレーキ / パネルボタン | | |
| | 作業ブレーキ (通常時) | | 静油圧 (HST) ブレーキ / 前後進レバー | | |
| 操向装置 | 形式 | | アーティキュレート式 (揺動併用) | | |
| | 操舵角 / 揺動角 | ± (°) | 39 / 9.0 | | |
| タンク容量 | 燃料タンク | L | 120 | | |
| | 作動油タンク | L | 51 | | |
| | 散水タンク | L | 300 × 2 | | |

● 運転質量は、燃料満タン、散水タンク満水で算出し、オペレータ質量を含んでいません。
● 本仕様は性能、品質向上のため予告なく変更することがあります。
● 本表示単位は、国際単位系による SI 単位とし、() 内は参考値として従来単位を記入しています。

※ ローラの作業運転には、「ローラの運転業務に関わる特別教育」の受講が義務付けられています。
※ 適正燃料以外の使用は、性能の著しい低下や故障の原因となります。
※ 自賠責保険にご加入下さい。

ISO 9001 認証取得

SKW 酒井重工業株式会社

本社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-8 浜松町清和ビル TEL.03-3434-3401 (代)

札幌営業所 TEL.011-846-8455 中四国営業所 TEL.082-227-1166
 仙台営業所 TEL.022-231-0731 福岡営業所 TEL.092-503-2971
 関東営業所 TEL.048-596-3336 プロダクトサポート部 TEL.0480-52-1111
 名古屋営業所 TEL.052-563-0651 研修センター TEL.0480-52-6964
 大阪営業所 TEL.072-654-3366

標準装備

● 歯止め ● 工具一式 ● マニュアル類 ● キャノピー

オプション

● ミハール一式 ● 不凍液タンク ● ウレタンロール

関係法規等

■ 車両系建設機械構造規格
 ■ 道路運送車両法の保安基準
 ■ 低騒音型建設機械の指定に関する規定
 ■ 特定特殊自動車排出ガスの規制に関する法律

振動タンデムローラ

路盤から表層まであらゆる道路工事で活躍する振動タンデムローラ

施工品質の向上

- 高周波振動の採用
- インパクトスペーシングで均一な施工品質を確保
- 効果的な締め込みを実現
- 低騒音 (振動) 施工を実現
- 燃料消費量の低減

安全性の向上

- エンジン始動時の安全性を確保
- 3 系統ブレーキシステムの標準装備

メンテナンス性の向上

- 散水装置にバックアップシステムと間欠散水システムの標準装備



特定特殊自動車
排出ガス基準
適合車



低騒音型
建設機械

製品の詳しい情報はホームページもご覧下さい。

www.sakainet.co.jp



路盤から表層まで あらゆる道路工事で活躍する 振動タンデムローラ

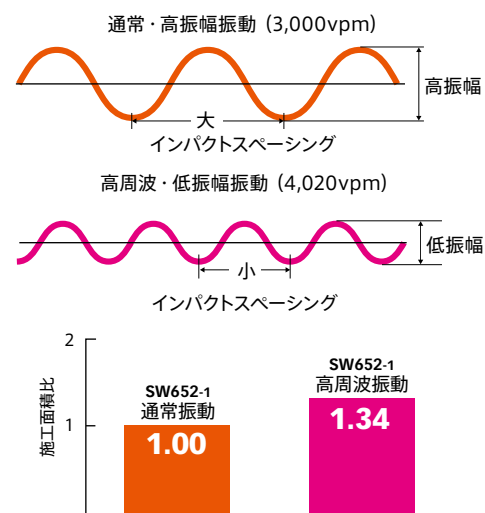
施工品質の向上

● 高周波振動の採用

材料に合わせてスイッチ一つで、高周波（低振幅）振動と通常（高振幅）振動の2種類の振動モードを選択できます。高周波振動は、比較的高い混合物温度範囲で締固めが必要な材料や雰囲気温度が早期に低下する寒冷地等で使用することで高い品質を確保することができます。

● インパクトスペーシングで均一な施工品質を確保

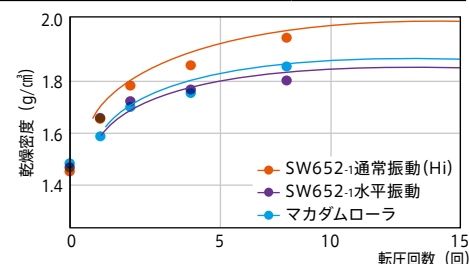
単位距離当りの振動による打撃回数（インパクトスペーシング）を一定（最適）にすることで、締固め材料に対して均一な締固め効果を得ることができます。インパクトスペーシングを同一にした場合、高周波振動の方がより高速で作業することができ、施工効率が向上します。



| 振動方式と用途 | | | | |
|---------------------|-------|-------------|--------------------|------------------------------|
| | 振動方式 | 起振軸・数 | 振動数 | 用途 |
| SW652-1 SW652B-1 | 高周波振動 | 一軸偏心 × 2 | 67Hz (4,020vpm) | 舗装全般 |
| | 通常振動 | | 50Hz (3,000vpm) | 路床 路盤 安定処理 |
| SW652ND-1 | 水平振動 | 二軸偏心 × 2 | 49Hz (2,940vpm) | 排水性舗装 SMA 特殊舗装 舗装全般 |
| | 通常振動 | | 49Hz (2,940vpm) | 路床 路盤 安定処理 |

● 効果的な締固めを実現

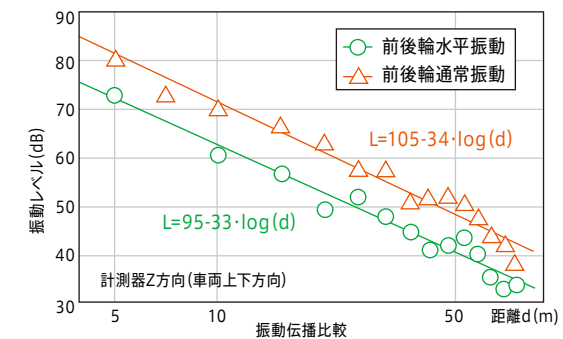
高振幅モード（通常振動のHi）では、マカダムローラと比較して相対的な締固め効果で約7%密度が向上しています。水平振動モードでは、締固め密度においてマカダムローラと同等の締固め効果が得られます。



低騒音（振動）施工を実現

● 水平振動モードは通常振動モードに比べ約10dBAの振動騒音低減効果があります。

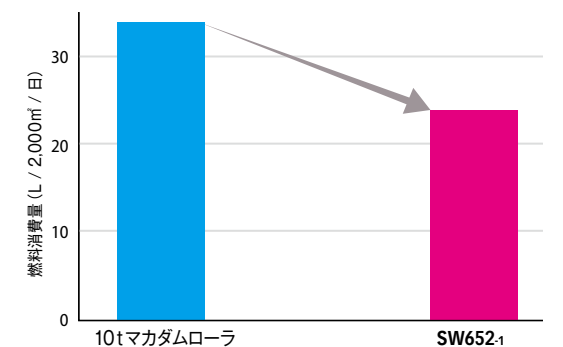
※作業中の振動・騒音レベルは、施工条件等により大きく異なります。



燃料消費量の低減

● 10tマカダムローラと比較して、燃料消費量を約30%低減できます。

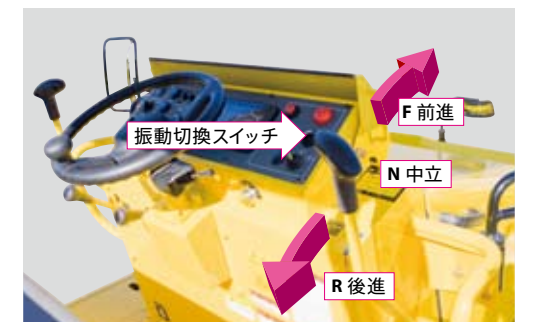
※当社、積算資料によります。
※各計算値は、業務形態その他の要因によって大きく異なります。



安全性の向上

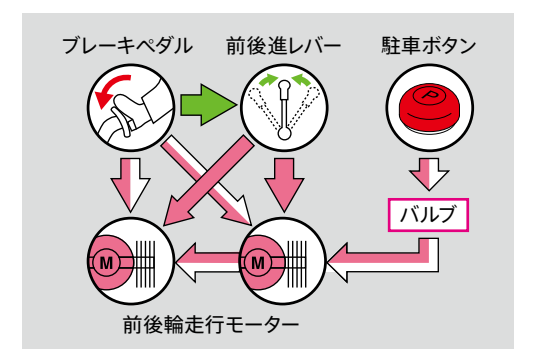
● エンジン始動時の安全性を確保

前後進レバーが中立時のみエンジンが始動するインターロック機構を標準装備しています。
※前後進レバーには、振動切換スイッチが標準装備されています。



● 3系統ブレーキシステムの標準装備

通常の作業時は、前後進レバーで静油圧ブレーキが作動します。緊急時は、ブレーキペダルで静油圧ブレーキと機械式湿式多板式ブレーキが同時に作動します。駐車時は、パネルの駐車ボタンで機械式湿式多板式ブレーキが作動します。また、エンジnstール時には、機械式湿式多板式ブレーキが作動する安全システムを採用しています。
※ ブレーキペダルを踏むと前後進レバーが中立位置に戻るようになっています。



メンテナンス性の向上

● 散水装置にバックアップシステムと間欠散水システムの標準装備

ダブル散水ポンプの採用により、1台のポンプに不具合が生じた場合でももう1台のポンプで前後輪へ散水ができます。

間欠散水時間をスイッチ一つで任意に設定することで、最適なタイミングで散水でき、ロール表面へのアスファルト混合物の付着を防止します。

